

作成日: 2006年04月01日

改訂日: 2011年01月11日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : インパルス フラッシュソリューション
製品種類 : 産業用インクジェットプリンター用フラッシュクリーナー
会社名 : 株式会社ユニオンコーポレーション
住所 : 大阪府吹田市南金田2-26-17
担当部署 : マーケティング本部
電話 : 06-6369-2711
FAX : 06-6369-1298
製品番号(MSDS NO) : IVPFS-2

製造元 : (米国) Trident Inc an ITW Company
住所 : 1114 Federal Road, Brookfield, CT. 06804 USA
電話 : 203-740-9333
FAX : 203-740-3527

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(単回暴露): 区分 1

特定標的臓器毒性(反復暴露): 区分 1



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

単回暴露により臓器の障害

長期または反復暴露により臓器の障害

軽度の皮膚刺激

眼への刺激

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令 番号
オキアルキレンポリマー	90 - 99	?	-
ジエチレングリコール	<6.0	111-46-6	-
エチレングリコール	<2.0	107-21-1	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分なし

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エチレングリコール

化管法「指定化学物質」該当成分なし

EUリサイクル指令関連情報

家庭用電化製品、IT/遠距離通信機器、消費者用機器、照明器具、電子/電気工具、玩具/レジャー/スポーツ用具もしくは自動販売機用途に使用される本製品には
0.1 wt% を超えるPb, Hg, Cr(VI), PBB, PBDE もしくは 0.01 wt% を超える Cd を含有していません。

4. 応急措置

一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
特別な手当が必要である。
暴露した場合:医師に連絡する。

吸入した場合

呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
呼吸困難の時は酸素吸入を行う。
呼吸症状が出た場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

衣類にかかった場合:服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類および皮膚を多量の水で洗う。
多量の水と石鹼で優しく洗う。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせてはならない。
意識のある場合はコップ1-2杯の水を飲ませる。
意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
気分が悪い時は、医師に連絡する。

医師に対する特別な注意事項

医師にその容器またはラベルを見せる。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物アルデヒドを生成する。

消火を行う者の保護

消火作業者は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

適切な保護具を着用する。
着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

回収、中和 ならびに 封じ込めおよび浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

関係者以外の立ち入りを禁止する。
着火源を取除くとともに換気を行う。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱い注意事項

保護手袋および保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管する。

換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

換気の良いところで保管する。涼しい所に置く。

日光から遮断する。換気の良いところで保管する。

容器包装材料

他の容器に移し替えてはならない。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

ACGIH(1992) STEL: 上限値 100mg/m³(H) (上気道および眼刺激)

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

休憩、終業時は手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 :液体

色 :無色

臭い :溶剤臭

pH :適用外

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 :200℃

引火点 :185℃

蒸気圧 :0.133 Pa

蒸気密度 :7.15

比重/密度 :1.127

水に対する溶解度 :混和する

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
常温常圧で安定

避けるべき条件

衝撃、摩擦、火気またはその他の着火源

混触危険物質

強酸、強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、アルデヒド

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

rat LD50=4000 mg/kg (CICAD 45 (2002))

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

ラビット 555 mg open ; MILD

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

ラビット 500 mg/24H ; MILD ラビット 100 mg/1H ; MILD ラビット 1.44 g/6H ; MODERATE

発がん性

(エチレングリコール)

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

短期暴露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性(単回暴露区分1)

(エチレングリコール) 中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器

特定標的臓器毒性(反復暴露区分1)

(エチレングリコール) 中枢神経系、呼吸器、心臓

12. 環境影響情報

環境有害性

水生毒性

地下水などの水流に入った場合には、水生生物などの環境へ作用を及ぼす。

(エチレングリコール)

魚類(ヒメダカ) LC50 > 100mg/L/96hr (環境省, 2001)

水溶解度

(エチレングリコール)

1000 g/L (PHYSPROP Database, 2005)

(ジエチレングリコール)

混和する (ICSC, 2007)

生体蓄積性

(エチレングリコール)

log Pow=-1.93 (ICSC, 1999)

(ジエチレングリコール)

log Pow=-1.47 (ICSC, 2007)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

汚染容器および包装

容器は有害廃棄物として処理する。

産業廃棄物: 廃油

14. 輸送上の注意**国連番号、国連分類**

国連番号に該当しない

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類): エチレングリコール

有害液体物質(Z類): ジエチレングリコール

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):

エチレングリコール

有機溶剤中毒予防規則に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第3石油類水溶性

化審法に該当しない。

16. その他の情報**参考文献**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (3rd ed., 2009), UN

MSDS・ラベル作成ガイドブック(改訂初版、平成19年5月)、日本塗料工業会

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 16th edit. UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg.(EC) No 1272/2008)

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2009 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250 (2005年)「化学物質等安全データシート」

原材料/製品メーカーMSDS

責任の限定について

この製品安全データシートは、製造者からの情報を元に編集したものであり、この製品の安全な使用と取り扱いのために必要な注意事項をはじめ、危険性に関する情報を記載し、関係者に周知するためのものである。本データシートは、この製品が目的とする使用における健康、安全および環境問題に関する手引きであり、使用に際しての技術的性能を保証するものではない。また、このデータシートに記載された情報は、現在知りえた情報であり、その正確性、信頼性または完全性を保証するものではない。この使用および廃棄に際しては、適用を受ける法規を確認し遵守することが必要である。また、各注意事項は通常的な取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点に配慮が必要である。この製品を他の目的に使用してはならない。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。